

④ 新治市民の森 のびのびウォーク 催行日 5月11日(水)

地下鉄中山駅南口バス停(集合8:50) ⇒ バス(23系統 奈良山北団地行) ⇒ 十日市場市営住宅
 入口下車 ⇒ 徒歩15分 ⇒ にいはる里山交流センター



新治市民の森

この森は横浜市北西部の丘陵地帯に位置する市民の森で、平成12年3月に開園、面積は約67.2ヘクタールで最も大きい市民の森です。この森の北側には拠点施設「にいはる里山交流センター」を中心とした新治里山公園が続いており、市内有数の緑地帯を形成しています。

新治市民の森は人間が農業などの営みなどによって作り出された「里山」と呼ばれる森です。緩やかな谷地形「谷戸」の風景が良く残されており、斜面の雑木林や谷筋の杉林とともに市内では少なくなってきた「谷戸田」が残されています。開園以来、市民の森に土地を提供された方と市民の有志、行政が協力し貴重な環境の保全に努めています。園内には横浜では少なくなってきた動植物が多くみられます。

原風景が残る新治の森

この森には横浜の原風景ともいわれる里山の景観が多く残されています。薪や炭を得るためのスギの林、日々の糧を得る畑や水田がモザイク状に広がります。

新治市民の森の生き物

森には多くの生き物が暮らしています。手入れされた雑木林を好むウラナミアカシジミ、田と森を行き来するニホンアマガエル、土手に咲くヤマユリなど、人間の活動と密接に係わる環境を保全しています。



中山駅南口に出るとバス停があります。左側にはズーラシア行の発着所、その他は右手にありますが、23系統は通りの向かい側にありますので注意してください。バスは1時間に3本、9:00,9:20,9:40 となります。遅れないように注意してください。バスは15分ほどで十日市場市営住宅入り口に着きます。歩道橋の脇の階段を上がり、直進します。緩やかな坂を少し上ると左手に郵便局とセブイレブンがあります。そこを左折し、すぐに右折します。市営住宅の団地の中に入ります。手入れの行き届いた素晴らしい団地内には多くの花が植栽されていて目を楽しませてくれます。子供たちが喜びそうなベンチもあります。



直進して直ぐに左折しまた右折して進むと団地の外に出ます。左手に自販機がありますが、そこを入ると新治里山公園の入り口です。100段ほどの階段を下ります。下りきった右手に旧奥津家の民家があります。一般に開放されてるのでちょっと覗いてみるのも・・・そして正面に「にいほる里山交流センター」があります。この時期、まだ鯉のぼりが泳いでいるかも・・・ここでちょっと休憩しましょう。色々なパンフレットや地図もここでゲットしましょう。広い芝生の庭では親子連れが遊んでいます。そしてこれより森に入っていきます。



団地はここまで



新治里山公園入口



素晴らしい展望（新治小が見える）



奥津家の鯉のぼり



交流センターの鯉のぼり

交流センターを出て左に、旭谷戸の入り口のB2に向かいます。左に曲がり畑の中を抜けて森の中に入っていきます。見事なスギ林が迎えてくれます。足元の様々な春の野草を見つけてください。C1を通過してC2へ、少し上りがきついですが頑張りましょう。10分ほどで通過できます。C2で右に入りC3（油窪）へ、そこを左へ竹林の道を下ります。民家の脇を通過してA2に出ます。ここは住民の生活道路でもあります。行きかう人に声をかけながらA3（鎌立谷戸）を通過してA4（池ぶち広場）に向かいます。ここにこの森を守るボランティアの小屋があります。トイレもあります。見事なフジ棚の下で休憩しましょう。緑の森に囲まれた静かな空間を満喫してください。様々な小鳥の声も降ってきます。



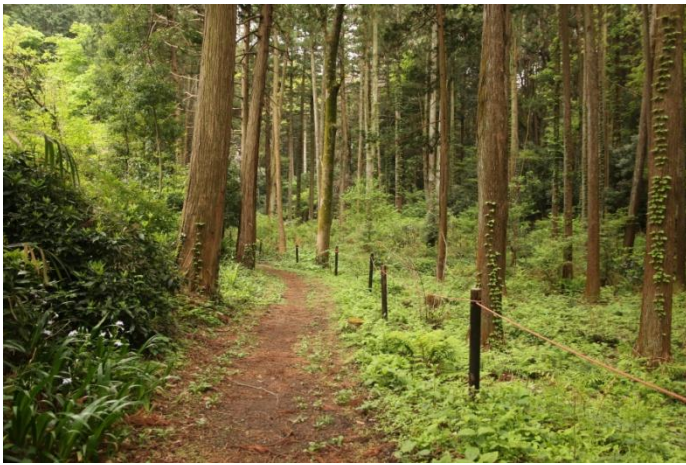
交流センターの前を出発



すぐにB2の旭谷戸入口の看板に」したがって左に

ここからは新緑の中を緩やかな坂を上っていきます。全身が緑の中に溶け込んでいくようです。検見坂（A5）には作業小屋があります。切り出した丸太が積まれています。左手が向山です。

A 班、B 班は、新治里山交流センターから、B コース(B1～B6)を進み、さらに東南に急な山道を 200m 進むと、A7 みはらし広場です(休憩)、A コース(A7～A1)で戻るコースがお奨めです。

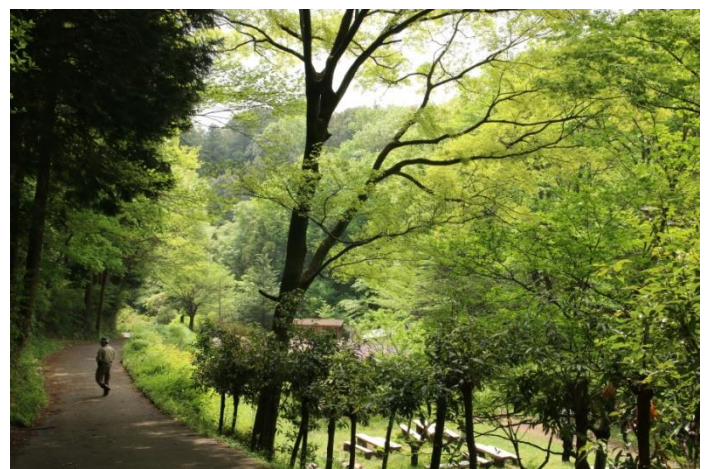




鎌立谷戸の沼地（A4-5）



A4池ぶち広場（むじな谷戸入口）



A5作業小屋のあるところ



A6よりA7に向かう道

そしてA7の**見晴らし広場**に出ます。ここには**駐車場**もあり、車で来た人はここから出発していきます。これより「へぼそ」に向かってスギ林の中を下っていきます。少し急なところもありますので気を付けてください。足元にはシダが密生しています。B6よりB5を経てB4の**谷戸田**に向かいます。緩やかな坂を下っていくとクリ林でしょうか。足元には花大根の紫の花や黄色い菜の花が咲き誇っていました。しばらく進むと**旭谷戸**です。そして**終点の交流センター**に戻ってきました。AB班は元来た道をもどりますが、C班は階段を避けて少し先の道を進み**新治小学校前**からバスで**中山**に戻ります。 2016/4/24 鈴木

時間のある方は、新治里山交流センターの上手にある、旧奥津邸も見学しましょう。
長屋門は江戸時代末期(天保9年)と古いです、母屋は明治～昭和初期の農家を良く残しています。